



図書館だより 10月

NO.6

2014/10/01

ノートルダム学院小学校図書館

新聞週間 10月15日～21日

1930年ごろ、新聞の大切さを多くの人に知ってもらうため、アメリカで始まり
ました。日本では、1947年愛媛新聞が初めて新聞週間を始めました。翌年、1948年、
日本新聞協会は共同で「新聞のいくところに自由あり」をスローガンにして、
新聞週間を広めました。今のように10月15日からの一週間を「新聞週間」とさだ
めたのは、1968年からのことひょうごです。
2014年67回目の新聞週間の標語には「ふるさとが元気を知った今日の記事」が一位
に、ほか「新聞が遠い世界を近づける」などの標語が選ばれています。
みなさんも新聞を読んでいますか？学校図書館には「毎日小学生新聞」があります。
9月25日の新聞の一面は「スコットランドは独立しなかったけれど」と世界が注目
したスコットランドの記事でした。

読書週間 10月27日～11月9日

めくる めぐる 本の世界（読書週間標語）

バスチアンは本をじっ
と見た。
「本って、閉じてい
るとき、中で何が起こっ
ているのだろうな？」バス
チアンはふとつぶやい
た。「そりゃ、紙の上
に文字が印刷してあるだけ
だけど、きっと何かがある
で起こっているはず
だ。だって開いたとたん、
一つの話がすっかりそこ
にあるのだから。ぼくの
まだ知らない人びとがそ
こにいる。ありとあらゆる
冒険や活躍や闘いがそ
こにある。海の嵐にであ
ったり、知らない国や町
にきたり。みんなどうや
ってかわからないけれど、
本の中に入っているん
だ。読まなくちゃ、そう
いうことをいっしょにや
れないわけだけども、それ
はわかっている。だけど、
それがみんな最初から中
に入っているんだ。どう
やってはいるのかな？」
『はてしない物語』(ミ
ニエール・エンデ) 岩波
書店刊

秋の夜長、テレビを消して長編にチャレンジしてみましょ。そして本の中に入っ
ているワクワクやドキドキや夢をじっくり味わいましょう。

《読書の秋におすすめの本》

「守り人」シリーズ 上橋菜穂子 偕成社…2014年国際アンデルセン賞受賞作品

NHKで綾瀬はるか主演テレビドラマ化されます



「里見八犬伝」栗本薫訳 講談社

「宝島」ステブソン 講談社

「二十四の瞳」壺井栄 講談社

「冒険者たち」斎藤惇夫 岩波文庫

「ビルマの堅琴」竹山道雄 講談社

「ぼくらの七日間戦争」ぼくらシリーズ 宗田理 ポプラ社

「ふたりはともだち」シリーズ アーノルド・ローベル 文化出版

「はれぶた」シリーズ 矢玉四朗 岩崎書店

一皆既月食を観察しようー 10月8日

前回2011年は夜の9時45分からでしたが、

今回は観察しやすい夜の6時14分から始まり、

9時34分で元の満月にもどります。

